

## 2026 年度入学試験問題 出題趣旨（刑事訴訟法）

問 1 は、現行犯逮捕（刑訴法 212 条 1 項）の根拠を問うものである。現行犯逮捕が憲法上（憲法 33 条）令状主義の例外とされる理由について、令状主義の趣旨を踏まえて説明する必要がある。説明に際しては、必要性、許容性の両側面から論述することが期待される。

問 2 は、いわゆる悪性格証拠の証拠能力について問うものである。基本的な悪性格証拠の許容性についての考え方や、悪性格証拠と公訴事実との類似性の判断方法が理解できていることを確認する設問である。

本件では、併合審理された事件の証拠について、許容性が問われているため、併合審理されていることが許容性判断に影響するか否か、悪性格証拠が許容された場合の弊害との関係で検討することが期待される。